

道徳だより

令和3年1月

～夢と笑顔と「ありがとう」があふれる上里東小学校～

今年度も残すところ、あと2ヶ月となりました。1月は、コロナ禍の中でいろいろな行事を行うことができない中、「心を育てる」という意味では、ゆったり落ちついて学習に取り組めた月でした。その中でも、どの児童も、自分がやらなければならないことをしっかりやり遂げようとする姿勢が見られ、成長を感じることができました。

今回は、2年生と1年生の授業の感想をまとめましたので、ご家族でお話のあらすじと同じ場面を思い浮かべながら、読んでいただければと思います。

<2年生の授業より>



「三びきは友だち」～えこひいきしないで～【公正、公平、社会主義】

★正しい判断や、自分の好き嫌いにとらわれず、誰に対しても平等に接することの大切さについて考えさせる。また、いじめをしないという気持ちを育ませる。

●お話の内容●

ぴよんととわんたは仲のいい友達です。そこにぼんきちが来て、わんたとすもうをとります。その時、くまおじさんが大切にしていた花壇を壊してしまいます。怒ったくまおじさんは「花壇をめちゃくちゃにしたのは誰だ!」と言います。そこでぴよんたは「ぼんきちさんです。」と言い、わんたには「わんたのことは友達だから言わないよ。」と言います。今回の授業では、その後、ぴよんととわんたがどうなっていくのかお話の続きを考えるという授業でした。

